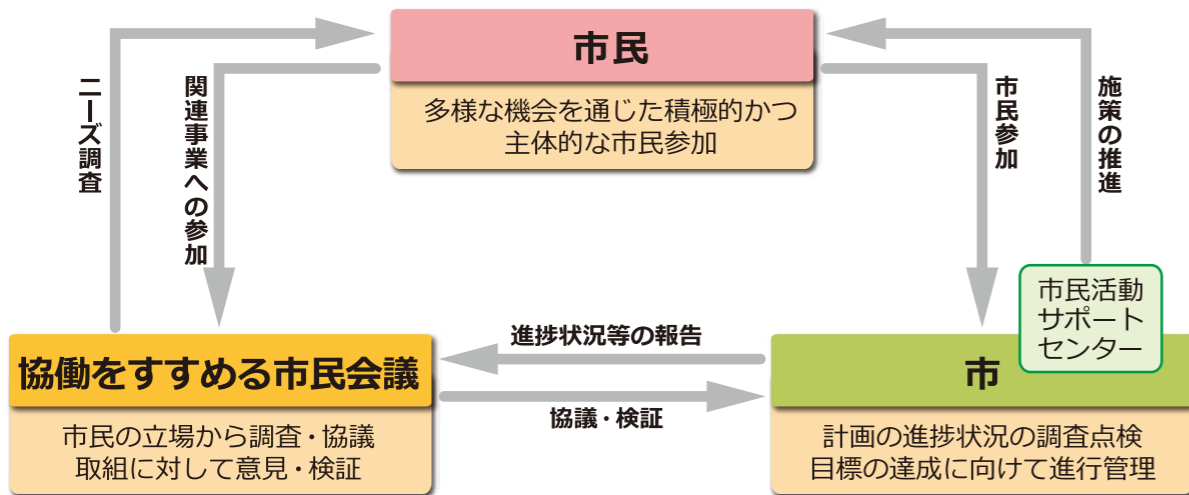


## 6 計画の推進体制

「みんなの活躍がつながる協働のまちづくり」の実現に向けて、様々な文化や価値観が背景にある人や組織が、情報の共有を通して、地域課題の解決や地域活性化のためにそれぞれができることを認識し、協力しあいながら実践できる仕組みづくりを「協働をすすめる市民会議」を中心に進め、「金沢市市民活動サポートセンター」を拠点として本計画を推進していきます。



### 目標の設定

本計画を効果的に推進するため、3つの基本方針に合わせた目標を定めます。

		項目	参考値	現状値	目標値 (2030年度)
基本方針1	目標1	公募型まちづくり提案事業における申請団体数(5年間の累計)	105件 (2016～2020年度)	112件 (2021～2025年度)	120件 (2026～2030年度)
	目標2	市民活動サポートセンターコーディネーター及び外部アドバイザー派遣・研修数	—	18件 (2024年度)	30件
基本方針2	目標3	協働を推進する団体登録数	43団体 (2020年度)	54団体 (2025年度)	60団体
	目標4	市民活動サポートセンターによる多様な主体のマッチング数(累計)	49件 (2022年度)	115件 (2024年度)	200件
基本方針3	目標5	市の情報公開・情報共有の取組に満足している市民の割合*	66.8% (2020年度)	71.1% (2025年度)	75%
	目標6	協働関連事業における事業発信件数	—	65件 (2024年度)	100件

\*「市民の地域活動・市民活動に関する調査」において、「あなたは、現状の市の情報公開・情報共有の取組に満足していますか」に対する回答者中「とても満足している」または「ある程度満足している」と答えた人の割合

# 金沢市協働推進計画2026

『みんなの活躍がつながる協働のまちづくり』をめざして

概要版



## 金沢市協働推進計画 2026(概要版)

令和8(2026)年2月 策定

金沢市市民局市民協働推進課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号  
 電話：076-220-2026 FAX：076-260-1178  
 Mail：kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

金沢市  
 令和8年2月

# 1 「金沢市協働推進計画2026」策定の趣旨

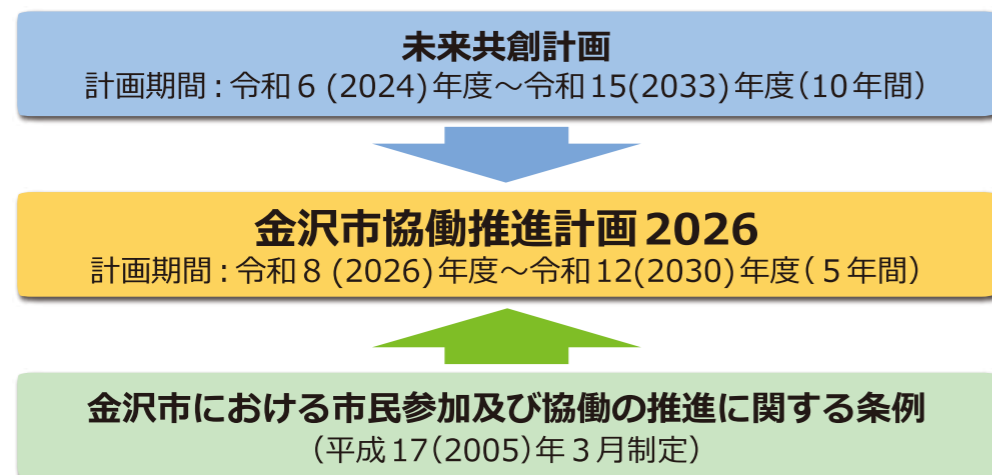
## (1) 計画策定の背景と目的

本市では、平成17(2005)年に、本市における市民参加を推進するための基本となる事項を定めた「金沢市における市民参加及び協働の推進に関する条例」(以下、条例と表記)を制定しました。以降、これに基づき推進計画を定めています。

第4次計画となる「金沢市協働推進計画2026」は、これまで以上に担い手への支援を広げ、多様な主体のつながりの創出を図るほか、活動全般にかかるデジタル化への対応、頻発する甚大な災害に備えた安心安全なまちづくり等、時代のニーズに応じた市民協働によるまちづくりを一層推進するために策定するものです。

## (2) 計画の位置づけ

本計画は、条例に基づき、市民参加及び協働による市政を総合的に推進するための目標や方針、取組をとりまとめたものです。また、令和6(2024)年に策定した、本市の新たな都市像を実現するための行動計画「未来共創計画」の分野別計画として位置づけられます。



# 2 市民参加の基本原則と協働について

条例では、市民参加の基本原則と協働による市施の推進について、以下のように定めています。

## (1) 市民参加の基本原則

市民参加とは、市民が自らの意思を市政に反映させるため、市の施策の企画立案、実施及び評価の過程に参加することを意味しています。市は、市民と市との協働による市政実現を目指し、市民に平等な参加機会を保障し、情報の共有や相互の役割を尊重することとしています。

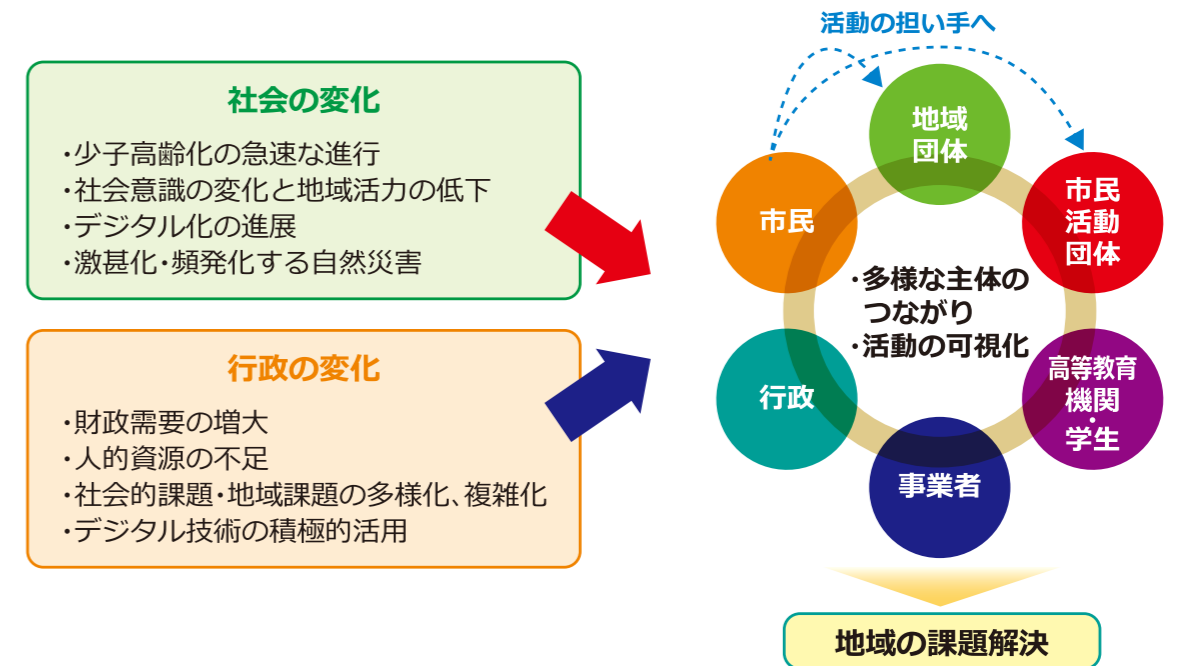
## (2) 協働について

市民および市は、目的と情報を共有し、相互の理解と信頼のもとに協働による市政を推進するものとしています。市民は自主性・自立性をもって協働による市政の推進に取り組み、その活動が広く市民に理解されるよう努め、市はそれを尊重することとしています。 [詳しくは右ページをご覧ください](#)

### ■ 協働とは

様々な組織や団体が、共通の目的を達成するために、お互いの特性を生かし、対等な立場で協力しあうことをいいます。

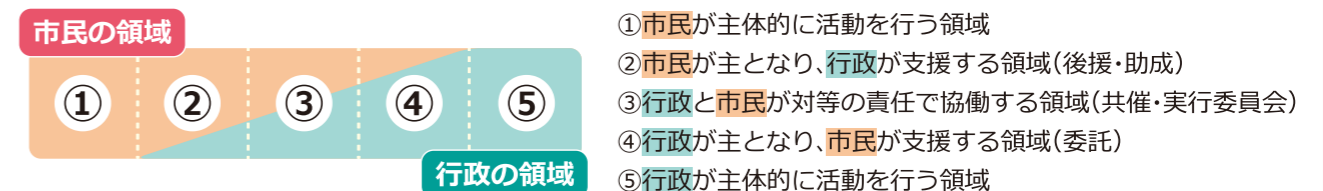
社会の変化などを踏まえて、時代のニーズに応じた持続可能なまちづくりを行うため、多様な主体同士がつながり、力を合わせる「協働によるまちづくり」がすすめられています。



### ■ 協働にあたって

全ての活動を「協働」で取り組めばよいとは限りません。以下の図は、市民と行政が活動に取り組む場合の領域を表しています。

活動の運営方法があらかじめ明確な場合は、その活動がどの領域に位置するのかを確認すると、活動に適した手法を見つけやすくなります。



※山岡義典著「時代が動くとき社会の変革とNPOの可能性」(ぎょうせい出版)を一部加工した図

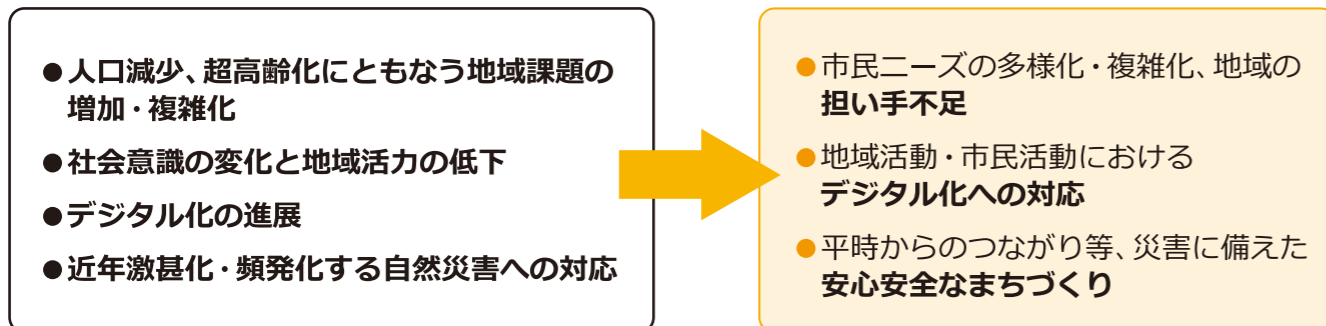
### ■ 協働の原則

多様な主体と協働でまちづくりをすすめるためのルールとして、次の7つの原則を紹介します。

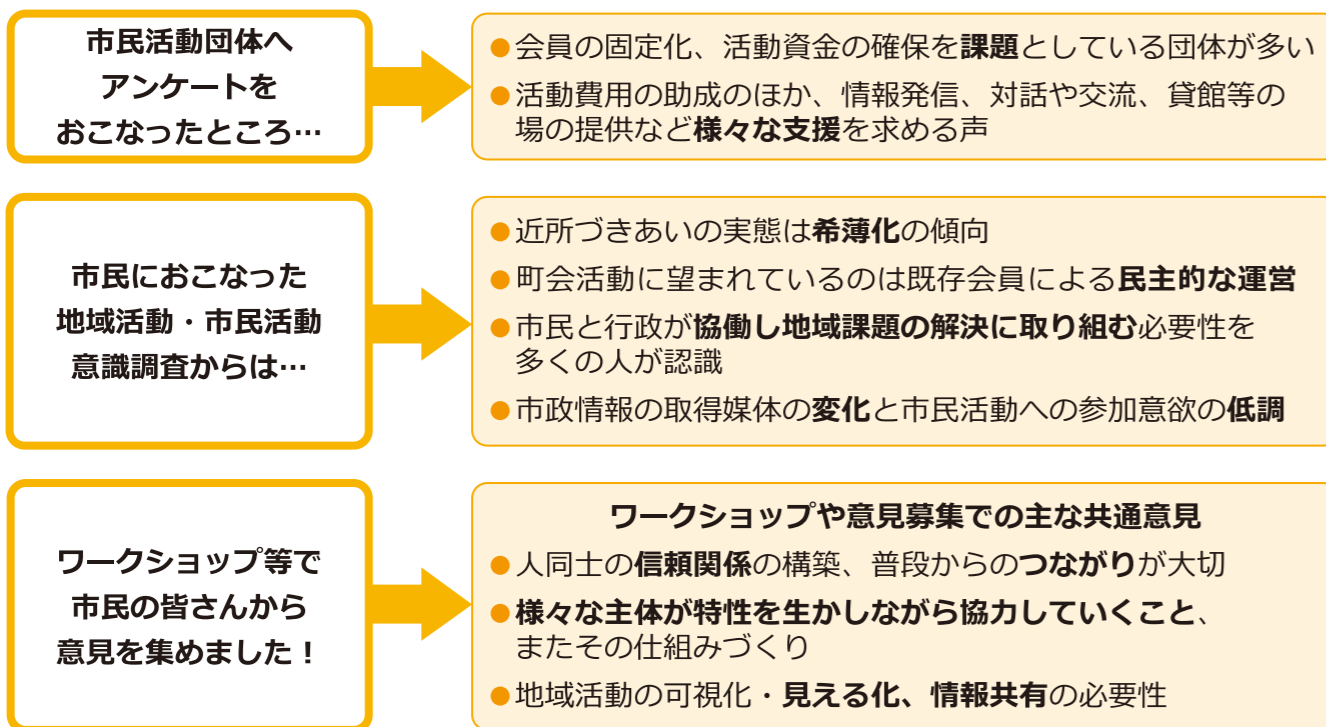
① 対等な関係	互いが対等な立場で取り組むこと
② 自主性の尊重	互いの自主性や主体性を尊重すること
③ 相互理解	互いの立場や特性を理解しあい、信頼関係を築くこと
④ 目的・目標の共有	共通の目的や目標を持つこと
⑤ 役割と責任の明確化	互いの役割と責任を明確にしておくこと
⑥ 情報の公開	活動内容や結果を広く公開し、透明性を確保すること
⑦ 相互評価	やりっぱなしではなく、客観的に見直し、次に生かすこと

### 3 本市の市民協働の現状と課題

#### (1) 協働をとりまく社会情勢の変化



#### (2) アンケート等から見る本市における協働の現状



社会情勢の変化やアンケート調査結果から見えてきた課題

- ☑ 担い手の発掘・支援と組織全体の能力向上
- ☑ 多様な主体間同士の交流・連携・つながりの強化
- ☑ 市内の活動や地域課題の「見える化」・共有
- ☑ 様々な活動・取組へのデジタル化に伴う支援

### 4 計画のめざす姿と基本方針

#### (1) 計画のめざす姿

#### みんなの活躍がにつながる協働のまちづくり

多くの市民からまちづくりの担い手が生まれ、その活動が内外に共有されることで相互につながり、協働の取組が持続可能な地域社会への活力になっていくことで、金沢らしい個性にあふれた誇りあるまちを共に創り出していきます。

#### (2) 基本方針

計画のめざす姿である「みんなの活躍がにつながる協働のまちづくり」を実現するために、以下の項目を基本方針とします。

#### 基本方針1 担い手に対する様々な側面からの支援

社会的課題や地域課題の解決を担う人材、組織を発掘・育成するため、市民が活動に参加する機会を提供するとともに、地域活動や市民活動に取り組む主体に対し、初期支援から継続的な支援まで、段階的なサポート環境を整えます。

#### 基本方針2 多様な主体の活動をつなげる仕組みの拡充

協働へ向けたつながりを生み出すため、地域団体や市民活動団体など多様な主体間の相互理解や連携を深めるとともに、連携した活動を支援する仕組みづくりを進めます。

#### 基本方針3 相互作用を生み出す情報収集・共有の強化

地域活動や市民活動に取り組んだ成果や経験を収集・発信していくとともに、まちづくりに関する市政情報の発信や、各組織の担い手に向けた学びの場を提供することで、活動経験等の共有拡大を促進し、相互に生かせる支援に取り組みます。

## 5 計画の具体的施策

めざす姿	基本方針	施策の方向性	主な施策	の展開	主な施策の取組
みんなの活躍が つながる協働の まちづくり	1 担い手に対する 様々な側面から の支援	1 幅広い世代を対象 とした担い手の 発掘・育成	①多様な主体が地域活動・市民活動に取り組める	きっかけづくり	●活動に参加するきっかけとなる機会の提供 ●公募型まちづくり企画提案事業の充実
			②市民活動サポートセンターや金沢ボランティア大学校等	による、地域活動・市民活動に興味のある人材の育成	●地域の話し合いを支える担い手の育成を図る講座を実施
			③地域活動・市民活動におけるデジタル人材の育成		●ICTを活用して地域課題を自ら解決できる人材の育成
		2 担い手の 組織基盤強化 への支援	①担い手のニーズに応じた研修・アドバイザー派遣	など、活動団体に対する中間支援体制の充実	●コーディネーター事業の充実 ●団体の組織基盤強化に向けたアドバイザー派遣制度の充実
			②活動へのICT活用に対応するデジタル機器貸出や	研修実施などサポート体制の強化	●ICTを活用した活動に関する研修の実施 ●地域活動・市民活動のICT活用に向けたICT推進員等の派遣
			③地域内でつながりを創出する活動人材にかかる	仕組みの構築検討	●地域内において多様な主体の連携を構築・維持する人材支援の検討
	2 多様な主体の 活動をつなげる 仕組みの拡充	1 地域と多様な主体 とのつながり創出	①地域における多様なつながり創出に向けた仕組み	の構築	●市民活動団体等が地域と連携できる仕組みづくり
			②多様な主体同士の交流連携促進事業の実施		●コーディネーター相談支援事業の充実 ●多様な主体同士の交流の場の提供
			③課題をもつ市民と課題解決に意欲をもった人材	との交流機会の充実	●シビックテック人材と地域課題をもつ人々との対面交流イベントの開催
		2 多様な主体が 連携した活動への 支援	①協働のまちづくりチャレンジ事業の充実		●協働のまちづくりチャレンジ事業の充実
			②多様な主体の地域活動・市民活動への参加支援		●地域行事への学生団体の派遣 ●金沢まちづくり学生会議への支援
			③市民活動と地域とのつながり創出・支援を目的	とした交流拠点の機能拡充	●市民活動サポートセンターの機能強化
3 地域課題を 共有しやすい 場の提供	①地域課題を誰もが発言できる機会の提供		●対話による意見交換会の実施 ●オンライン上で地域課題を提起できる環境の提供		
	②人が集う対話の場への技術的支援		●コーディネーター等の派遣や託児サービスの提供		
3 相互作用を生み出す 情報収集・共有の 強化	1 市民参加、協働に 関する情報発信	①市民参加・協働の意識向上に向けた、多様な媒体・	手法によるわかりやすく参加しやすい情報の提供	●パブリックコメント等への参加促進のためのオンライン・SNS等を活用した市政情報の提供 ●地域活動発信アプリの普及やホームページの制作等に関する支援	
		②市内の地域活動や市民活動について収集し、活動	が可視化できるようなオンライン上での情報発信	●市民協働事業の事例収集と発信	
		③地域課題解決プラットフォームによる情報共有の	強化	●地域課題解決プラットフォームを活用した地域課題の可視化	
	2 市民の活動事例 の収集と発信	①市民参加・協働の意識向上に関する講座・研修会の	実施	●市民参加や協働に関する講座の実施	
		②ICTを活用したまちづくりや地域の課題解決に	取り組むシビックテック活動の推進	●オープンデータ活用施策の推進 ●デジタル技術を活用した課題解決手法の講座を開催	
		③デジタル技術を活用した課題解決手法や経験の	伝達	●デジタル技術を活用した地域課題解決事例の紹介 ●「結ネット」を活用した交流会・防災訓練講習会を実施	